

令和7年度第4回 別府市公共交通活性化協議会 会議要旨

日 時	令和7年11月28日（金） 16：00～
場 所	南部地区公民館1階 大会議室
出席者 (委員)	阿部 万寿夫、本田哲、後藤 悠介、 <u>荒巻 良考</u> 、望月 郁男、下森 正也、平松 久幸、大平 順治、 <u>河野 龍児</u> 、廣石 昇、稻積 京子、藤木 淳史、小島 仁、山田 和洋、谷川 征嗣、山下 竜雄、山内 佳久、谷原 一心、 <u>大井 尚司</u> 、田原 裕之、河野 圭史、日置 伸夫、田辺 裕、安部 政信 ※委員24名中 出席21名（うち代理2名） 欠席3名（うち2名は委任状受理）
議 事	(1) 審議事項 第1号議案 「湯けむりライドシェアGLOBAL」について
(1) 審議事項	
■第1号議案 「湯けむりライドシェアGLOBAL」について	
事務局から「現状」、「市ホームページ登録者へのアンケート調査結果」について説明した後、12月中に迎車料金を1,000円から500円に引き下げるここと、多言語によるガイドを活用してインバウンドに貸切料金の設定することについて提案。	
(主な意見・質疑応答等については次のとおり。)	
> ライドシェアの迎車料金の引下げによってタクシー事業者に影響が出ることが懸念されるが、市民等国内容の利用が増えているということで、協会内での協議では引下げはやむを得ないということになった。	
> 料金を引下げ後のデータを開示してもらいたい。ライドシェアのドライバーに利用客が流れてしまうと、深夜帯の営業は厳しくなってしまうので、そういったことにならないよう配慮願いたい。 ☞ タクシーの不足している時間帯のデータをこちらも把握していないので、こちらの時間帯別のデータとタクシー事業者のデータをすり合わせながら、どの時間帯をどうしていくのか協議していく。データの開示については、これまで売上と利用者数の実績を毎月報告している。	
> タクシー事業者は、ある程度の車両にアプリを導入したということでよいか。 ☞ 他社の状況はわからないが、弊社でいえば、アプリを導入している車両は55台中15台である。それは、まだ電話での予約客が圧倒的に多い状況であり、全車両にアプリを導入してしまうと、これらの客に配車できなくなる可能性がでてくるため。	
> インバウンド対策として、例えば鉄輪方面に行きたい際にどう行ったら良いのかなどがわかるよう、多言語化を含めたサインの整備を進めてはどうか。 ☞ 今後交通結節点の調査を予定しているので、その際サインについても確認できればと思っている。	
> 事務局からも話があったように、ライドシェアが不要になる状態が最終的な目標だと思う。その目標達成に向け、事務局とタクシー事業者が相互のデータを分析し、この協議会の場で皆さんと検討を進めてもらいたい。 ☞ 運行から半年が経つ。運行開始時に想定していなかったタクシー事業者のアプリ導入等の新たな要素や、これから迎える年末の需要実績なども踏まえ、運輸局のアドバイスなどもいただきながら、今後のあり方について交通事業者と検討を進めていきたい。	
> 貸切の制度を設けるあたり、既存のドライバーで対応するのか。その場合、ドライバーが貸切にとられて通常のライドシェアに支障がでないか。	

- ☞ 通常のライドシェア GLOBAL のドライバーと車両を使って運行していきたい。貸切はスポット的な利用になると思われるので、現在のドライバー133人で十分対応できるのではないかと考えている。
- 迎車料金を下げるということで今年度の収支が減ると思うが、今後何らかの形で補填していくのか。
 - ☞ 収支については、今後年末の需要期を迎えるので、年間通しては見通せないが、今のシミュレーションでいくと、おそらく4,000万円を超えるような収益になるものと思われる。固定費等について、国土交通省の補助金も受けているので、ある程度まかなえるのではないかと考えている。

【審議結果】

- ◎ 事務局案どおり承認された。